

京丹波町

「教育と子育ての町プロジェクト」

京都教育大学

指導責任者
幼児教育科 平井恭子

課題

少子化の加速。
子どもたちがいろいろ
な世代の人と交流
する機会が不足。

解決策

こども園や小学校を拠点に
音楽や遊びを通して、大学生と子
どもたちが交流し、豊かな情操や将来
の夢を育む機会を創出。

事業

みずほこども園

24年11月8日

「人形劇とわらべうた」による交流

わらべうた「なべなべ」



わらべうた
「お寺の和尚さん」



お寺の和尚さんは、子
どもたちが知っている歌詞
と少し違いましたが、す
ぐに覚えて交流後も、子
どもたち同士で繰り返し
遊んでいる(保育者)



わらべうた
「おてぶしてぶし」

のびのび過ごすことのできる環境と、
子どもの人数に対する豊富な教員配置
が、子どもたちにも先生方にもいい影
響を及ぼし、私たち全員が素敵な園だ
と感じ、「ここに就職したい！」とい
う声がたくさんあった。(学生)

絵本の読み聞かせ

給食後は、2対1や3対1
で、絵本の読み聞かせ
をし、子どもたちとゆった
りとした時間があり、子
どもたちがとても喜んで
いた。(保育者)

事業B 丹波ひかり小学校

2024年12月11日

「人形劇と音楽遊び」による交流

フォークダンス「ジングルベル」



手作りのクリスマスプレゼント
「X'masリース」(学生から児童へ)
「メダル」(児童から学生へ)



トーンチャイム演奏「メリー・クリスマス」



児童の楽しそうな笑顔を
沢山見ることができて、
自分たちの努力が報われ
た気がして、とても嬉し
かった。(学生)

この数週間、ずっと子どもたちは何をしたら
喜んでくれるだろうと試行錯誤しながら
考えたことは、教師になってもかけがえの
ない喜びややりがいに繋がるだろうと感じた。(学生)

今回の交流で、さまざまなタイプの児童がいることを実際に
目の前で体感できてよかった。どのような方法で子どもの
興味を惹き、どのような話しかけ方で子どもの注意を引き
付けるのか、これからたくさん学びたいと思う(学生)

成果と課題

- みずほこども園では、「3びきの山羊のがらがらどん」を、ひかり小学校では「ブレーメンの音楽隊」を人形劇で上演した。学生同士で練習する時には得られない、子どもたちの生の反応から、学生は多くのことを学ぶ貴重な機会となった。
- 地域で少人数だからこそできる、丁寧で心の通いあう教育の良さを参加した多くの学生が実感した。
- 学生が上演した「3匹のやぎのがらがらどん」「ブレーメンの音楽隊」や、わらべうた遊びなどは、覚えやすく親しみやすい物語なので、子どもたちが、家庭でも親子で話したり、遊びを再現したりすることができる。地域の未就園児と保護者も参観されていたので、家庭での親子のコミュニケーション向上に役立ててほしいと考える。
- 滞在時間が短く、各学校の先生から、学生がお話を聞く時間がとれなかったため、次に機会があれば、子どもだけではなく、先生方から普段の子どもの様子や教育の中で大事にされていることなどを伺う機会をもちたい。

人形劇

「ブレーメンの音楽隊」



給食



京丹波町にちなんだ食
材がたくさん使われて
おり、自分たちが住む
町について知り愛着を
もつきっかけになると考
えました(学生)

校長先生が子どもたちにす
ごく人気で親しみのある存
在だったことがすごく素敵
だと思った。また、是非訪
問に行きたい。(学生)

校長先生がサンタク
ロースに扮して登場。
素敵なサプライズに子
どもたちも大喜び。

